



野生イノシシ対策室
マスコットキャラクター
「いのべえ」

2021年10月29日(金)
愛知県農業水産局農政部農業振興課
野生イノシシ対策室
経ロワクチン対策グループ
担当 小出、城田
内線 5200、5203
ダイヤルイン 052-954-6725

野生イノシシにおける豚熱ウイルスの浸潤状況調査の結果について

愛知県では、豚熱の発生を防止するために、2019年3月から野生イノシシへの経ロワクチンの野外散布を実施するとともに、野生イノシシから検体を回収し遺伝子検査^{※1}及び抗体検査^{※2}を行うことで、野外における豚熱ウイルスの浸潤状況を調査しています。

この度、2021年7月から9月までの調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

1 調査結果について（詳細は裏面の表参照）

(1) 豚熱に感染したイノシシの状況について

2021年7月から9月までの検査頭数（遺伝子検査の結果が判明したイノシシの頭数）は457頭で、前回結果（4月～6月分）に引き続き、感染は確認されませんでした。

なお、直近では豊田市内で2021年10月14日に捕獲された1頭のイノシシにおいて、約1年ぶりに豚熱の感染が確認されております（2021年10月26日発表済）。

(2) 豚熱の免疫を獲得したイノシシの状況について

2021年7月から9月までの検査頭数（遺伝子検査と抗体検査の両方の結果が判明したイノシシの頭数）は443頭でした。そのうち、免疫獲得頭数は66頭で、前回結果（4月～6月分）から県全体の免疫獲得率は17.5ポイント下降の14.9%となりました。

地域別に見ると、尾張地域で28.0ポイント、西三河地域で16.1ポイント、東三河地域で2.7ポイントの下降となっています。

引き続き、豚熱のさらなる発生を防止するため、野生イノシシ全体の免疫獲得率が高まるよう経ロワクチンの散布を継続していきます。

※1 「陽性」であれば豚熱に感染しており、「陰性」であれば感染していない。

※2 「陽性」であれば豚熱に対する免疫を獲得しており、「陰性」であれば獲得していない。

2 地域ごとの調査結果（調査期間：2021年7月～9月）

（1）豚熱に感染したイノシシの状況について

地域名	今回結果 7月～9月	前回結果 4月～6月	増減割合
	割合 (感染頭数/検査頭数)	割合 (感染頭数/検査頭数)	
県全体	0.0% (0頭/457頭)	0.0% (0頭/39頭)	0.0%
尾張	0.0% (0頭/164頭)	0.0% (0頭/17頭)	0.0%
西三河	0.0% (0頭/197頭)	0.0% (0頭/15頭)	0.0%
東三河	0.0% (0頭/95頭)	0.0% (0頭/7頭)	0.0%
知多	0.0% (0頭/1頭)	—	—

注1) 感染頭数は、検査頭数のうち、遺伝子検査が「陽性」の頭数を集計したものです。

注2) 検査頭数は、各市町村の散布期間中及び最終散布日から14日間を除いた期間に回収された野生イノシシのうち、発見日を基準として、遺伝子検査の結果が判明した頭数を集計したものです。

（2）豚熱の免疫を獲得したイノシシの状況について

地域名	今回結果 7月～9月	前回結果 4月～6月	増減割合
	割合 (免疫獲得頭数/検査頭数)	割合 (免疫獲得頭数/検査頭数)	
県全体	14.9% (66頭/443頭)	32.4% (11頭/34頭)	△ 17.5%
尾張	7.7% (12頭/156頭)	35.7% (5頭/14頭)	△ 28.0%
西三河	22.4% (43頭/192頭)	38.5% (5頭/13頭)	△ 16.1%
東三河	11.6% (11頭/95頭)	14.3% (1頭/7頭)	△ 2.7%

注1) 免疫獲得頭数は、検査頭数のうち、遺伝子検査が「陰性」かつ抗体検査が「陽性」の頭数を集計したものです。

注2) 検査頭数は、各市町村の散布期間中及び最終散布日から14日間を除いた期間に回収された野生イノシシのうち、発見日を基準として、遺伝子検査と抗体検査の両方の結果が判明した頭数を集計したものです。

【今回の調査期間中、検査を実施した野生イノシシの検体が回収された市町村】

- ・尾張地域：瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市
- ・西三河地域：岡崎市、豊田市、幸田町
- ・東三河地域：豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町
- ・知多地域：東浦町

野生イノシシの豚熱検査結果と豚熱浸潤状況調査結果については、以下の愛知県農業振興課Webページにて公表しています。

URL：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/kensa.html>